

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(10歳代女性)ありました。症状は腹痛、水様性下痢、血便で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は43例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- デング熱の報告が1例(60歳代男性)あり、症状は2日以上続く発熱、発疹、白血球減少、結膜充血です。感染地域は国外(フィリピン)で、感染経路は蚊です。本年の累積報告数は8例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(50歳代女性)ありました。症状は菌血症です。本年の累積報告数は31例となりました。
- 急性脳炎の報告が1例(50歳代男性)(第39週追加報告分)ありました。症状は発熱、項部硬直、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加で、本年の累積報告数は6例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(90歳代男性)ありました。症状は発熱、咳、嘔吐、意識障害、肺炎、菌血症で、本年の累積報告数は57例となりました。
- 梅毒の報告が2例(30歳代男性及び30歳代女性)(第39週追加報告分を含む)ありました。いずれも感染地域は国内で、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は53例となりました。
- 百日咳の報告が1例(40歳代女性)ありました。症状は持続する咳、夜間の咳き込みです。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は90例となりました。

◆ 今週のトピックス:<梅毒>

本市の梅毒の報告数は2015年頃から増加傾向にあり、本年は現在のところ年間報告数が最も多かった一昨年の同時期に迫る勢いとなっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 7例(肺結核 3例、その他結核 1例、潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 242例(肺結核 105例、その他結核60例、潜在性結核感染者 77例)うち喀痰塗抹陽性 50例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 43例】
- 四類:デング熱 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 31例】
- 五類:急性脳炎 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 57例】
- 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 53例】
- 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 90例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69、小児科定点43、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.45	31
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.88	124
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.30	56
	③ RSウイルス感染症	1.26	54
	④ 手足口病	1.09	47
	⑤ 水痘	0.70	30
	⑥ 伝染性紅斑	0.70	30
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<梅毒>

付表(疾病、行政区別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

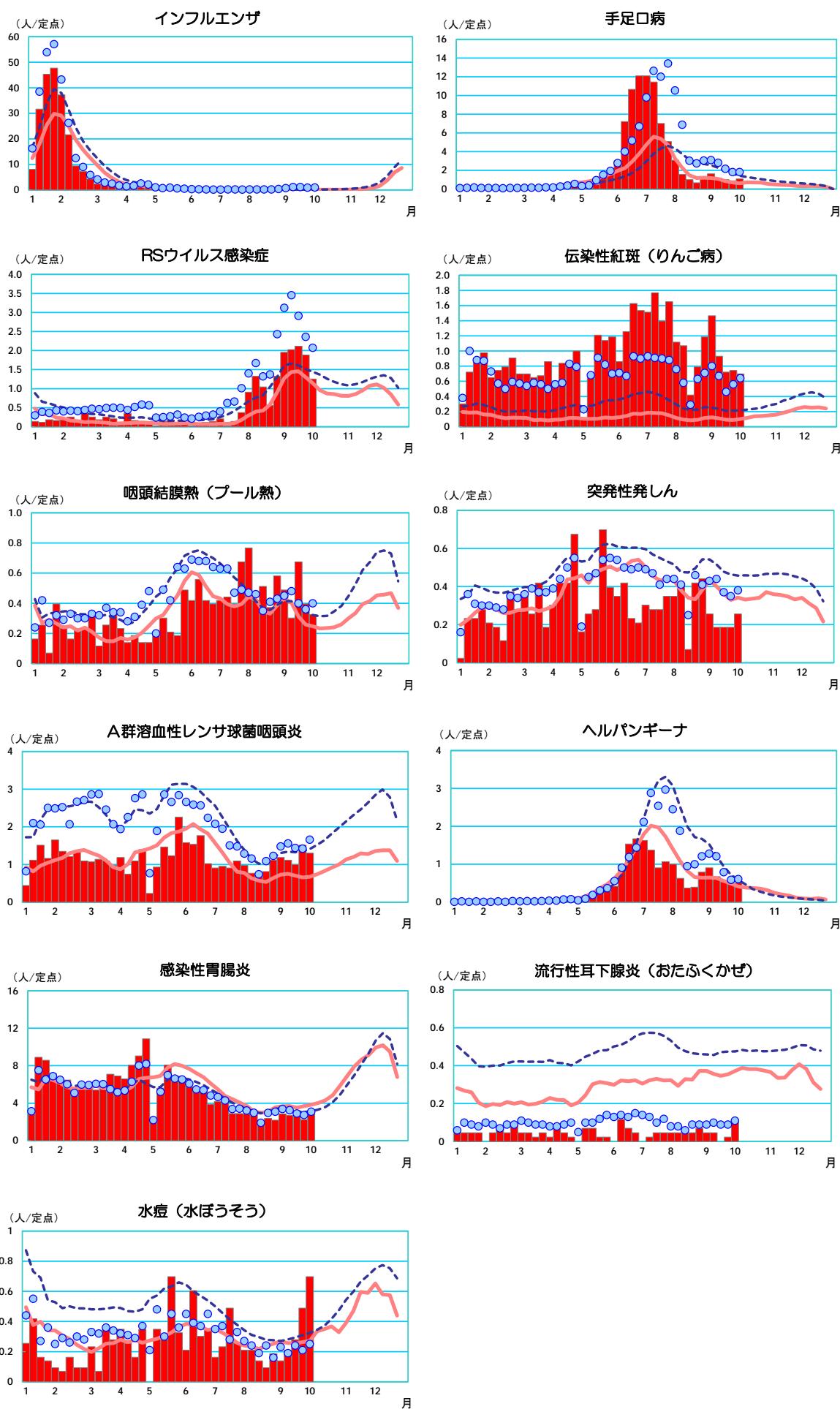
(注) 京都市のデータは、2019年10月9日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ 及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）

■ 京都市_本年 ■ 京都市_過去5年平均値
○ 全国_本年 ■ 全国_過去5年平均値



第40週(9月30日～10月6日)トピックス：<梅毒>

■京都市及び全国の発生動向

京都市の梅毒は第40週に3例(前週までの追加報告分含む)の報告があり、本年の累積報告数は53例(男性34例、女性19例)となりました。本市の梅毒の報告数は2015年頃から増加傾向にあり、本年は現在のところ年間報告数が最も多かつた一昨年の同時期に迫る勢いとなっています(図1)。梅毒は若齢女性患者の増加が問題視されており、京都市の本年の報告数を年齢階級別・男女別に見ると、男性は20歳代から50歳代まで年齢幅が広いのに対して、女性は10歳代から30歳代までで女性全体の8割以上を占めています(図2)。全国では、この傾向はさらに顕著で、10歳代と20歳代で女性が男性を上回っています(図3)。

本市の患者の感染経路割合を年別に見ると、報告数が増加し始めた2015年以降は、異性間性交渉の割合が半数を超える、本年も75%に達しています(図4)。全体の患者数の増加に加えて女性の割合が増加している原因にもなっています。

■症状

梅毒は、梅毒トレポネーマという細菌による感染症です。感染者の患部に含まれる梅毒トレポネーマが、主に性的接觸により粘膜や皮膚の小さな傷から侵入し感染します。初期症状では陰部、口唇、口腔内にしこりができるが、無治療でも症状が消失するため、見逃してしまうことも多く、感染を自覚しないまま相手に移してしまい、蔓延の原因となります。数年から数十年の長期間の潜伏の後、晚期まで梅毒を放置していると心臓、血管、脳など複数の臓器に病変が生じ、死に至ることもあります。コンドームを使用する等で予防するとともに、皮膚や粘膜に異常があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

また、妊婦が患者の場合、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、奇形が起こることがある、先天梅毒の子どもが生まれるリスクが高くなります。

○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

図1 京都市の梅毒の報告数の推移(2013年～2019年40週)

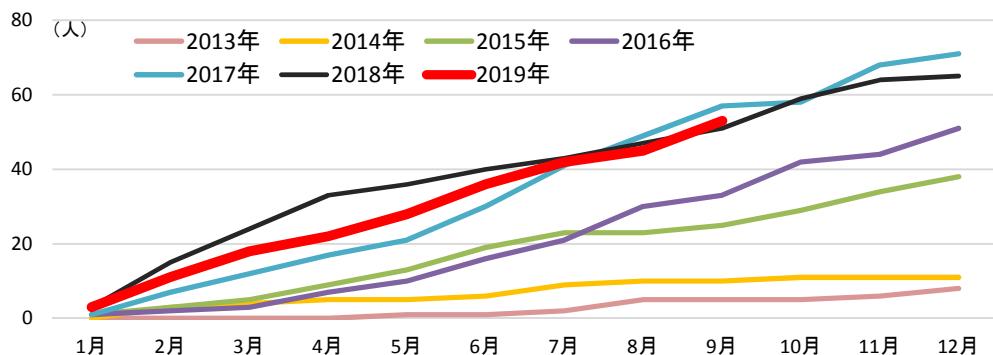


図2【京都市】年齢階級別・男女別の報告数(2019年1週～40週)

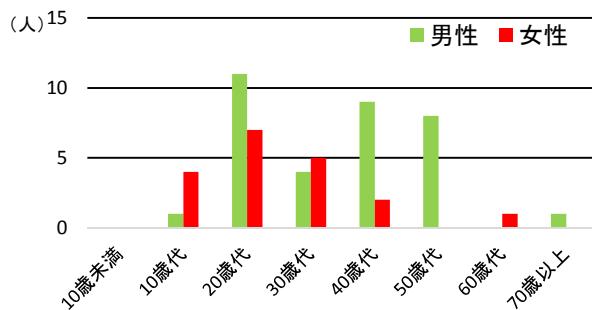


図3【全国】年齢階級別・男女別の報告数(2019年1週～40週)

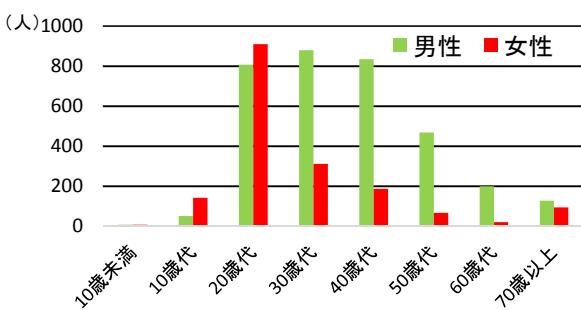
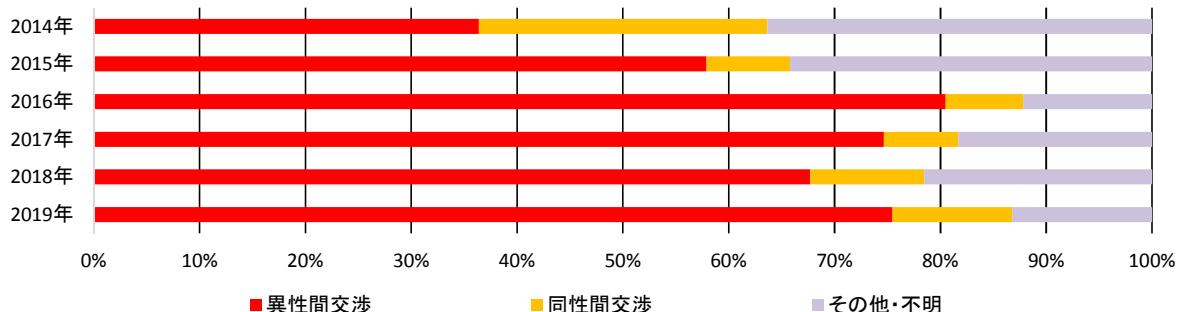


図4 京都市の患者の感染経路の割合(2014年～2019年40週)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第40週

疾病,行政区別報告数

2019年9月30日～2019年10月6日

データ入手日:2019年10月9日

	インフルエンザ （※ ¹ ）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A頭群炎溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性齶膜炎（※ ² ）	無菌性齶膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※ ³ ）	感染性胃腸炎（※ ⁴ ）
男女合計																		
北	3	1	1	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
上京	1	1	2	6	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
左京	8	8	1	3	8	1	8	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	
中京	-	4	-	4	8	-	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
東山	3	5	-	-	11	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山科	4	6	1	1	1	-	3	5	2	4	-	-	2	-	-	-	-	
下京	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	2	-	1	-	6	2	2	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	
右京	3	10	3	28	6	4	8	2	1	2	-	-	2	-	-	-	-	
伏見	4	15	5	11	67	18	14	12	5	5	4	-	1	-	-	-	-	
西京	2	4	-	3	13	5	10	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	
京都市計	31	54	14	56	124	30	47	30	11	22	5	-	5	-	-	-	-	

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ （※ ¹ ）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A頭群炎溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性齶膜炎（※ ² ）	無菌性齶膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※ ³ ）	感染性胃腸炎（※ ⁴ ）
男女合計																		
北	0.43	0.25	0.25	-	0.75	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	
上京	0.20	0.33	0.67	2.00	0.33	-	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
左京	1.14	2.00	0.25	0.75	2.00	0.25	2.00	1.00	0.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	
中京	-	1.33	-	1.33	2.67	-	0.33	0.67	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
東山	1.00	2.50	-	-	5.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山科	0.57	1.20	0.20	0.20	0.20	-	0.60	1.00	0.40	0.80	-	-	2.00	-	-	-	-	
下京	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	0.40	-	0.33	-	2.00	0.67	0.67	0.33	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	
右京	0.38	2.00	0.60	5.60	1.20	0.80	1.60	0.40	0.20	0.40	-	-	2.00	-	-	-	-	
伏見	0.36	2.14	0.71	1.57	9.57	2.57	2.00	1.71	0.71	0.71	0.57	-	0.50	-	-	-	-	
西京	0.25	0.80	-	0.60	2.60	1.00	2.00	-	0.20	0.40	0.20	-	-	-	-	-	-	
京都市計	0.45	1.26	0.33	1.30	2.88	0.70	1.09	0.70	0.26	0.51	0.12	-	0.50	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性齶膜炎は齶膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第40週

年齢階級、疾病別報告数

2019年9月30日～2019年10月6日

データ入手日:2019年10月9日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	
インフルエンザ(※1)	年齢1	31	-	-	-	3	3	5	2	3	-	-	1	2	-	4	1	2	1	1	3	-
RSウイルス感染症	年齢3	54	5	14	19	11	3	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		14	-	-	2	3	4	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		56	-	2	6	4	3	9	11	6	4	4	3	3	-	1	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		124	2	7	15	14	21	6	11	9	6	4	3	9	2	15	-	-	-	-	-	
水痘		30	-	-	5	6	3	2	3	2	2	4	2	-	-	1	-	-	-	-	-	
手足口病		47	-	3	15	10	2	6	6	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		30	-	-	1	3	2	11	3	4	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		11	-	2	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		22	-	2	9	5	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		5	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
細菌性齶膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性齶膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級、疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.45	-	-	-	0.04	0.04	0.07	0.03	0.04	-	-	0.01	0.03	-	0.06	0.01	0.03	0.01	0.01	0.04	-
RSウイルス感染症	年齢3	1.26	0.12	0.33	0.44	0.26	0.07	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.33	-	-	0.05	0.07	0.09	-	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.30	-	0.05	0.14	0.09	0.07	0.21	0.26	0.14	0.09	0.09	0.07	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.88	0.05	0.16	0.35	0.33	0.49	0.14	0.26	0.21	0.14	0.09	0.07	0.07	-	0.21	0.05	0.35	-	-	-	-
水痘		0.70	-	-	0.12	0.14	0.07	0.05	0.07	0.05	0.05	0.05	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-
手足口病		1.09	-	0.07	0.35	0.23	0.05	0.14	0.14	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.70	-	-	0.02	0.07	0.05	0.26	0.07	0.09	0.02	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.26	-	0.05	0.19	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.51	-	0.05	0.21	0.12	0.12	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.12	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	0.10	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	-
細菌性齶膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性齶膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性齶膜炎は齶膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第40週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年10月9日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	6	46	50	50	47	31	
RSウイルス感染症	57	84	87	91	81	54	
咽頭結膜熱	25	21	13	29	17	14	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	51	48	43	65	56	
感染性胃腸炎	94	123	116	116	97	124	
水痘	8	6	9	12	21	30	
手足口病	47	70	50	43	38	47	
伝染性紅斑	51	63	40	31	32	30	
突発性発しん	19	11	8	8	8	11	
ヘルパンギーナ	34	39	29	23	20	22	
流行性耳下腺炎	3	2	2	-	1	5	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	6	6	9	1	1	5	
細菌性齶膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-	
無菌性齶膜炎	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	
合 計	398	522	461	447	428	429	

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.09	0.67	0.72	0.72	0.68	0.45	
RSウイルス感染症	1.33	1.95	2.02	2.12	1.88	1.26	
咽頭結膜熱	0.58	0.49	0.30	0.67	0.40	0.33	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.12	1.19	1.12	1.00	1.51	1.30	
感染性胃腸炎	2.19	2.86	2.70	2.70	2.26	2.88	
水痘	0.19	0.14	0.21	0.28	0.49	0.70	
手足口病	1.09	1.63	1.16	1.00	0.88	1.09	
伝染性紅斑	1.19	1.47	0.93	0.72	0.74	0.70	
突発性発しん	0.44	0.26	0.19	0.19	0.19	0.26	
ヘルパンギーナ	0.79	0.91	0.67	0.53	0.47	0.51	
流行性耳下腺炎	0.07	0.05	0.05	-	0.02	0.12	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	0.60	0.60	0.90	0.10	0.10	0.50	
細菌性齶膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-	
無菌性齶膜炎	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	
合 計	9.66	12.20	10.97	10.03	9.62	10.09	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1について含む。

※2 細菌性齶膜炎は齶膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。